広報 皆さんと村を結ぶ架け橋

しむかっぷ

12
2020
No.756

自然体感占冠
Shimukappu/Hokkaido

２０２０年を振り返る

世界的・歴史的な感染症となった、新型コロナウイルス感染症。
北海道１７９市町村応援大使事業は規模が縮小され、お祭りなどの季節行事は中止に。
コロナ禍で迎えた２０２０年は、行動を大幅に制限された『異例の１年』となりました。

暗い話題が報道される一方、村では新保育所が運用を開始。
また、災害対策関連の協定締結も進み、子育てや災害対策環境の整備が一歩前進しました。

新しい占冠保育所の運用が開始しました

４月、新しい占冠保育所（中央地区）が運用を開始しました。10月に開催された『新占冠保育所の内覧会』には、延べ53名の村民が参加。占冠村産の木材が使用された建物や家具は、来場者から大変好評でした。

新占冠保育所は、ニーズの多様化に対応するため、未満児保育や給食提供にも対応できる施設です。新たに設置された交流コーナーは、子育て世代への相談・支援だけではなく、各種交流や催しなど、幅広い用途で活用される予定。村のすべての家庭が孤立することなく、地域と一体となって子育てをすることができる環境をめざします。

CO_2の排出削減など、地球環境に配慮して導入された２台の薪ボイラー。使用する薪の原料は、主に村有林から調達されます。保育所で使用する薪はすべて占冠村木質バイオマス生産組合で製造されたものであり、エネルギーの地域循環による経済効果が期待されます。

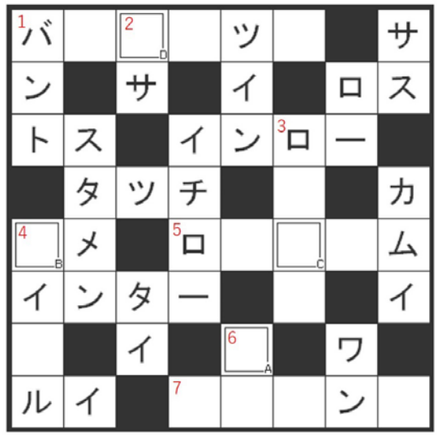
北海道１７９市町村応援大使が村に

北海道日本ハムファイターズの『北海道１７９市町村応援大使』プロジェクトに当選した２０２０年。鶴岡慎也選手と堀瑞輝選手が占冠村の応援大使に決定しました。

北海道１７９市町村応援大使とは、毎年18市町村にそれぞれ複数の選手を応援大使に任命し、２０１３年から10年間実施する壮大なプロジェクトです。北海道日本ハムファイターズの選手が、道内の全市町村でまちづくり・まちおこしに寄与しています。

広報７月号より連載企画としてファイターズ応援大使のご紹介や、クイズを掲載してまいりました。連載企画は今月の記事で最後となります。クイズでは少し難しい問題もありましたが、お楽しみいただけましたか。

８月には、ファイターズベースボールアカデミーの立石尚行コーチと浅沼寿紀コーチが指導する野球教室が、占冠中学校で開催されました。元プロ野球選手による指導教室は、野球少年にとってかけがえのない思い出となりました。



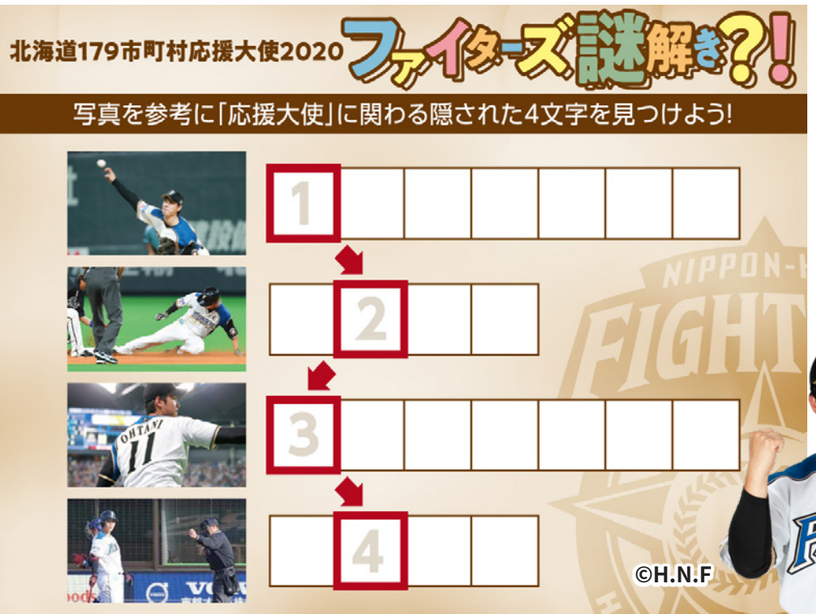
◀ 広報９月号掲載のクロスワードパズル解答

『はたたく』⇒ 羽撃く

『羽撃く』は、北海道日本ハムファイターズの2020年チームスローガンに掲げられた言葉です。
※カギの問題は広報９月号を御覧ください。

＜たてのカギ＞
2　クサ野球
3　ロスター
4　タイトルホルダー
6　ハイタッチ

＜よこのカギ＞
1　バックネット
4　タメ
5　ロスタイム
7　ウィニングショット



◀ 広報11月号掲載の謎解きの解答

『おうえん』

1　オーバースロー
2　とうるい
3　エースおおたに
4　さんしん

新型コロナウイルス感染症による大きな影響 イベントの中止が相次ぎ、給付金などの対策事業が実施されました

マスクのいらない日常を

2020年、社会・経済は新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けました。同感染症は、今もなお猛威を振るっています。

5月、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、特別定額給付金の申請受付を開始。各世帯1人あたり10万円が給付されました。給付対象768世帯のうち、752世帯が受給。申請率は97・9%となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を行うため、感染防止対策、事業継続対策、地域活性化・生活への影響緩和対策などを実施。しむかっぷ村民割クーポンなどが村民希望者に配布され、飲食店などで活用されました。

ふるさと祭りを始めとした各種お祭り、村民スポーツレクリエーション大会、占冠村総合文化祭など、毎年楽しみにされている方も多い数々のイベント。これらのイベントは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐために中止となりました。地域活動の自粛を余儀なくされる日々。イベントが実施されないことに、『物足りなさ』を感じる方も少なくなかったのではないでしょうか。

マスクを着用せずに外出し、人混みを気にせずにイベントに参加して楽しむことができた一年前。私たちの『日常』が早く戻ってくることを願うばかりです。

今年は中止となった、占冠村最大の祭り『ふるさと祭り』。来年は、近くで上がる大迫力の花火を楽しめると良いですね。

村民や村内企業の皆様から、手作りマスクや使い捨てマスクのご寄付もありました。困難な状況こそ助け合いが必要です。

元気なアスペンの子どもたちを心待ちに。

◀昨年のアスペン交換留学事業『サヨナラパーティー』の様子。
毎年10月に実施されるアスペン交換留学事業。平成３年８月に占冠村がアメリカ合衆国コロラド州アスペン市と姉妹都市提携をしてから令和３年で30年を迎えます。今年は、アスペン市長を表敬訪問し、今後における姉妹都市提携発展のための協議する予定でしたが、中止となりました。元気な彼らの来訪を、心待ちにしています。

『ごみの分別ハンドブック』『防災のしおり』、『ハザードマップ』等を配布 災害協定を締結し、災害時の行動を迅速に

ごみ出しはルールとマナーを守って

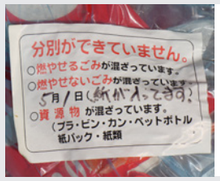
ごみ分別辞典には、主な品物の分別区分が五十音順で掲載されています。ごみの分別の際、判断に困るものがあればこちらから確認することができます。すべてのごみの分別区分を網羅しているわけではありませんが、判断の参考としてご活用ください。

ごみの分別ハンドブックには、ゴミ出しのルールとマナー、ごみの分類、指定排出袋、ごみの出し方の注意点などが掲載されています。

ごみ回収ステーションは、共同で使用するものです。マナーを守り使用しましょう。

ルールとマナーを守りましょう

①ごみは、きちんと分別しましょう
②決められた専用袋で出しましょう
③決められた日に出しましょう
④決められた場所に出しましょう
⑤決められた時間に出しましょう
⑥二重袋にしないでください
⑦再分別をお願いします
⑧ゴミ回収ステーションは行政区で管理しています



◀排出方法に間違いがある場合は回収されません。再分別にご協力ください。

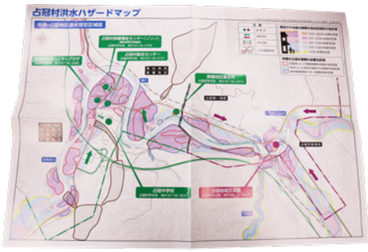
災害から身を守る適切な避難行動を

今年度配布したハザードマップには、避難所の場所や避難する方向、浸水や土砂災害の発生想定区域などを掲載しています。お住まいの区域を確認し、とるべき避難行動を考えましょう。

9月には、台風による風水害を想定した夜間訓練を実施しました。簡易トイレや段ボールベッドなど、実際に災害が発生したときに使用する災害備品を活用しましたが、これらの避難所の設備には限りがあります。一人ひとりが、日頃から非常用持ち出し用品を用意しておくことが大切です。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、避難所の収容人数は従来に比べ制限される恐れもあります。避難とは、『難』を『避』けること。災害時、危険な場所にいる人は避難することが原則ですが、安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。非常時に適切な判断を行うためには訓練が必要です。大切な命を守るために、来年の避難訓練に参加しませんか。お待ちしております。

災害協定を締結 避難所として活用

8月、村と村社会福祉協議会との間で『占冠村災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定』が締結されました。10月、村と国立日高青少年自然の家との間で『災害時における施設等の利用に関する協定』が締結されました。これらの協定の締結により、有事の際には村社会福祉協議会や国立日高青少年自然の家に対して協力要請を行うことができるようになりました。



▲今年度配布されたハザードマップ。お住まいの区域を確認し、避難行動を確認しましょう。

新型コロナウイルス感染症が1年を通して猛威を振るい、イベントの中止が相次いだ2020年。全国的にイベントの中止、外出の自粛を余儀なくされる異例の年を、私たちは経験しました。

11月、新型コロナウイルス感染症の1日あたりの感染者が2000人を超えるという報道がされました。未だ終息のめどが立たず、その勢いは増すばかりです。この困難を乗り越えるために私たちには一体何ができるのか。一人ひとりが、その行動を考えていかなければなりません。

紅葉を楽しむコースに満足

5km のコースでさわやかな汗を流しました

11 月 7 日（土）、上トマム地区で『ふらの沿線スポーツフェスタ　ノルディックウォーキング』が開催され、ふらの沿線居住者 18 名が参加しました。

今年はトマムの晩秋の紅葉と狩振岳を望むことができるコースを採用しました。参加者からは「トマム地区を一望し、楽しかった」、「毎年コースも変更されていて楽しみにしている」と感想をいただき、次回の開催にも期待が寄せられていました。上半身も使った全身運動を行うことができるノルディックウォーキングは、運動不足の解消に適しています。

読書とハロウィンを楽しむ

ハロウィンゲームや仮装コンテストで盛況

毎年10月27日～11月９日の２週間は読書週間とされ、全国的に読書活動を強化する期間。中央コミュニティプラザ図書室では、図書担当者がおススメする本を数冊セットにした『本の福袋』の貸出を実施し、読書活動を推進しました。

10月31日（土）、トマム支所で『ブックフェスティバル』が開催されました。図書専門委員や外国語指導助手による絵本の読み聞かせのほか、ハロウィンゲーム、仮装コンテストが実施され、参加者はハロウィンと読書活動を併せて楽しみました。

第74回占冠中学校学校祭

笑いを通じて来場者に元気をお届け

11 月 7 日（土）、占冠中学校で『第 74 回占冠中学校学校祭』が開催されました。例年９月に開催される学校祭ですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により延期されていました。

各学年生徒による自由創作では、話題のテレビ番組やドラマ、アニメ映画などをコミカルな演技で表現。会場は笑いの渦に包まれました。

例年よりも練習期間が短かった今年の学校祭。生徒たちの見事な演技に、来場者から大きな拍手が送られました。

太鼓を体験し、楽しさを知る

太鼓を親子で楽しみました。

11 月 15 日（日）、トマム支所で自主創造プログラム『太鼓体験会 in トマム』が開催され、中央地区やトマム地区の親子が参加しました。

自主創造プログラムの発案者は、上トマム地区在住の長谷川和美さん。「和太鼓の演奏を見るのが大好きで、自分や子どもにも体験させたいと思っていました。今回体験会を開催できて嬉しいです。」と語ります。

今回、体験会の講師を努めたのは元青巌大鼓代表の影山孝さん。太鼓の叩き方やリズムなどを指導し、体験会の最後には、参加者で曲を合わせて演奏しました。

マスクを手作りして備蓄

マスクがいつ不足するかもわからない昨今

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう昨今、マスクは日常生活に欠かせない必需品となりました。感染拡大によるマスクの不足を見込み、占冠村赤十字奉仕団は、マスクの手作りを行っています。

手作りされたマスクは、災害時などの有事の際に活用することを目的として備蓄されています。

８月から取組を開始し、手作りされたマスクは 11 月 12 日現在で約 80 枚に達しました。ご多忙中にも関わらず、マスクを作成してくださった団員の皆様、誠にありがとうございます。

少年野球の選抜に村から３名

さらなる活躍に期待して

北海道学童軟式野球都市対抗戦の富良野支部代表選手を決定する選考会が実施され、村からは佐々木琉翔君、石坂佑都君、森田真央さんが選抜されました。

富良野支部選抜チームは、予選１次リーグ戦を見事突破し、10 月 31 日（土）開催の決勝トーナメントに駒を進めましたが、善戦むなしく１回戦敗退という結果となりました。選抜された選手らは、「大会に出場できた事を誇りに持ち、野球を頑張りたい。」、「トップレベルの試合でヒットを打てて良かったです。」、「とても貴重な時間を過ごすことができました。」と話し、今後の活躍に期待が高まります。

北海道179市町村
応援大使2020

ファイターズポリークイズ

1～6の数字をたどって
5文字の言葉を
見つけてください。

ヒント　「あ」から始まる言葉です。

1	れ	だ	ま	6
あ	う	と	ろ	う
2	り	3	げ	5
る	い	が	と	ら
え	ん	4	ら	ん

©H.N.F

ファイターズ応援大使連載企画 Vol.6

今月は、『応援大使』に関するクイズを出題！正解者の中から抽選で18名様に「選手の直筆サインボール」をプレゼントします！
連載企画は今回で最後となります。最後までご参加いただき誠にありがとうございました。

応募方法

パズルを解いて、解答ページに「隠された5文字」を記載して郵送または下記URL、QRコードより応募ください。

解答ページ

URL：https://form.fighters.co.jp/hokkaido179_quiz2020_03/

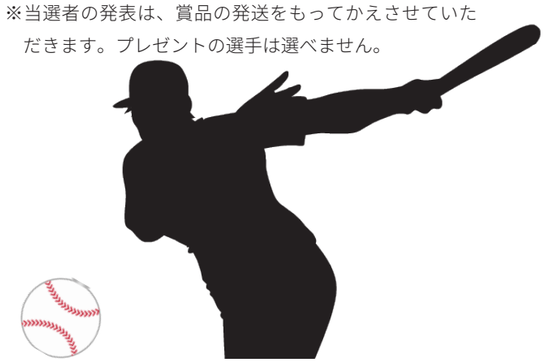
※解答ページは12月１日（火）より閲覧できます。

郵送先

〒062-8656　北海道札幌市豊平区羊ヶ丘1番地
㈱ファイターズ スポーツ＆エンターテイメント
地域連携グループ　応援大使プロジェクト係
※お名前、ご住所、ご連絡先、隠された5文字を明記の上、郵送ください。

謎解きチャレンジの応募締め切りは
12月21日(月) 必着

※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。プレゼントの選手は選べません。



20歳になったら国民年金に加入

国民年金は、歳をとったときやいざというときの生活を、現役世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、歳をとったときや、病気やけがで障がいが残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができます。

国民年金のポイント

①将来の大きな支えになります

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。
国が責任をもって運営するため、安定しており、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

②老後のためだけのものではありません

国民年金には、歳をとったときの老齢年金のほか障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障がいが残ったときに受け取れます。また、遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族（「子のある配偶者」や「子」）が受け取れます。

「学生納付特例制度」と「保険料納付猶予制度」

①「学生納付特例制度」

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。対象となる学生は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限１年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

②「保険料納付猶予制度」

学生ではない50歳未満の方で、ご本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。ご不明な点はお気軽にご相談ください。

問　住民課戸籍担当　☎　56-2123

暖房用燃料等購入費用を支給
福祉灯油支給申請受付のご案内

申込期限
令和３年２月26日まで

下記の対象世帯へ福祉灯油にかかる費用の一部を支給します。
該当になる方は、役場福祉子育て支援課またはトマム支所で申請手続きを行ってください。下記対象に該当する場合でも、施設入所者、入院患者等で引き続き２ヶ月以上不在の世帯や生活保護世帯は対象となりません。詳細は、折込チラシをご覧ください。

問　福祉子育て支援課社会福祉担当　☎　56-2125

～対象～
令和２年11月１日以降、引き続き村内に居住している「令和２年度村民税の非課税世帯」のうち、次のいずれかに該当する世帯

①70歳以上の高齢者がいる世帯

②身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方がいる世帯

③18歳未満の子（一定の障がいをお持ちの子の場合は20歳未満）を扶養しているひとり親世帯

暖房用燃料等購入費用を支給
現金 21,000円

生涯学習の窓

教育･文化･スポーツのホットな情報をお届けします

問　教育委員会社会教育担当　☎　56-2183

成人式のご案内

今年も残すところあとわずかとなりました。年明けには、20歳の輝かしい未来への旅立ちを祝して、占冠村成人式が行われます。すでに行政区回覧にてご案内しておりますが、進学や就職のため村外に住民票を移している方も参加できますので、該当の方はお声かけください。

なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年の内容から変更がございます。ご注意ください。

▶該当者　平成12年(2000年)４月２日から平成13年(2001年)４月１日までに生まれた方
▶日　時　令和３年１月９日（土）　14：00～
▶場　所　占冠村コミュニティプラザ　多目的ホール
※例年実施場所の総合センター議場から変更になっています。ご来場の際はご注意ください。

※お申込みをいただいた方には、案内状を送付します。
※例年式典後に行っていた祝宴はありません。スライドショーの上映のみとなります。
※新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、内容等に変更が生じる可能性があります。
※ご不明な点があれば、教育委員会までお問合せください。

『早寝早起き朝ごはん』運動に取り組みましょう！

12月と１月は、子どもたちの生活リズムの向上を目的とした『早寝早起き朝ごはん』運動啓発強化期間です。子どもたちが毎日を元気に楽しく過ごし、健やかに成長していくために、早寝早起きや朝にきちんとごはんを食べること、テレビやテレビゲーム、メディアに触れる時間を減らして学習や運動を行うなどの基本的な生活習慣を身に付けることがとても大切です。

子どもたちの生活リズムが乱れがちになる冬休み期間中に、家族みんなで『早寝早起き朝ごはん』運動に積極的に取り組みましょう。

統計によると、北海道の子どもたちは、全国と比べて睡眠時間が短く、朝食を毎日食べる割合も低いです。新型コロナウイルスの影響で外出はあまりできないかもしれませんが、読書や家庭学習、家族との団らんにあてるなど、健康的な生活を心がけましょう。

【早寝早起き朝ごはん運動】

①朝は日光を浴び、朝食をとりましょう！
②適度な運動を習慣づけましょう！
③お風呂は早めに入りましょう！
④寝る直前はデジタル機器（スマホ、ゲームなど）の利用を控えましょう！
⑤「早寝早起き」で必要な睡眠時間を確保しましょう！
⑥生活習慣を整えて、体内時計のリズムを保ちましょう！

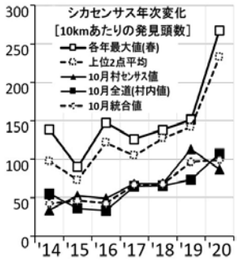
野生動物の対策

村内の野生動物に関するお困りごとをご相談ください

問　林業振興室　☎　56-2174

エゾシカ

一定の条件下でシカを数え、生息密度や増減の指標を得る調査（通称「シカセンサス」）を、村は独自に年間10回ほど実施しています。また毎年10月、全道市町村での一斉調査もあります。これらの結果をもとにシカの増減の推定を試みていますが、いずれの指標値を見ても、ここ数年、増加が疑われる状況です（左図）。当面の対応として捕獲努力を強めており、駆除は10月に33頭、10月末の累計は310頭で、ともに猟区設定以降、最多となっています。



ヒグマ

11月10日現在まで、依然として静穏です。林内に入ればそこそこの活動痕跡が見られますが、12月中には次第に冬ごもりに入ると思われます。

アライグマ

前回報告以降、字占冠と双珠別で、住民のご協力により計3頭を捕獲し、年度の累計は12頭になりました。アライグマ用の箱わなで、同じく防除計画対象のミンクも2頭、駆除しています。

アライグマは、冬も不活発ながら冬眠はせず、餌が乏しい分、捕獲しやすいともいわれます。引き続き捕獲に取り組んでまいります。

▶ミンク（字占冠11月）

猟区の入猟対応について

10月の実施状況は下表のとおりです。健康調査や車両の消毒など新型コロナウィルス対策を実施しており、今のところ感染情報はありません。また銃猟に伴う事故、違反等も発生ありません。

	対応回数	実施日数	利用人別数	延べ人数	捕獲頭数
10月	7 回	13 日	6 名	14 人	12 頭

捕獲効率は0.9頭／日と高くはないですが、安全、安心な狩猟環境が好評です。常連の方も多いほか、初めて出猟やご家族でのご利用もあります。狩猟の適正化を図りつつ、とっておきの休日を大切に過ごすお手伝いもでき、ガイド冥利に尽きるところです。

高病原性鳥インフルエンザに関する対応

この秋、香川県で家きん、紋別市で野鳥からウィルスが出たことを受け、国と道、市町村が連携して警戒を強めています。野鳥の死骸を見つけたら、手を触れずに、まずはご一報ください。

酪農学園大学の動き

野生鳥獣管理学研（伊藤助教ら）の各種生態調査は、11月末で今期の作業を事故なく終了しました。また狩猟管理学研の大学院生によるアンケート調査は、大変多くの皆様からご回答をいただけているとのことです。ご協力ありがとうございました。研究成果もご紹介できるよう、取り進めてまいります。

こちら駐在所です

問　占冠駐在所　☎　56-2110

雪による事故の防止

早めの氷雪下ろしを

屋根からの氷雪の落下により、下敷きになるなどの事故が毎年発生しております。氷雪が屋根からせり出している軒下などは、危険ですので近づかないようにしましょう。また、氷雪は早めに下ろして、落氷雪による事故を防止しましょう。

雪下ろし等の作業は複数かつ安全確保

屋根の雪下ろし中に、はしごや屋根から転落する事故も発生しています。作業するときは、補助者を置くなど複数で行うとともに、転落防止や万一のときに備え、万全の措置を講じましょう。

富良野緑峰高等学校農業特別専攻科学生募集のお知らせ

富良野緑峰高等学校農業特別専攻科では、自家の農業に従事しながら専門的知識と技術を学びたい方を募集しています。

修業年数	2年間
募集人員	20名（男女共学）
受付期間	令和3年(2021年)1月 7日（木）午前9時から令和3年(2021年)1月20日（水）正午まで（日曜日、土曜日及び成人の日を除く）
検 査 日	令和３年２月 ４日（木）午前９時
検査会場	北海道富良野緑峰高等学校
検査内容	作文（800字）、面接
合格発表	令和3年(2021年)2月12日（金）
そ の 他	合格者が募集人数に満たない場合は2次募集を行います。入学願書などは直接富良野緑峰高校へ請求ください。

問　北海道富良野緑峰高等学校　☎22-2594

生活・仕事相談会のお知らせ

日　時　12月23日（水）10時00分～10時50分
　　11時00分～11時50分
場　所　占冠村役場内
申　込　12月22日（火）の午後３時までに電話、FAX、メールで予約してください。
相談料　無料

問　自立相談支援事業所「かみかわ生活あんしんセンター」
〒078-8231　旭川市豊岡１条２丁目１-16

☎　0166-38-8800　FAX　0166-33-0021
メール　anshin@kamikawa19.hokkaido.jp

林業退職金共済制度のお知らせ

林退共は昭和57年に発足した林業界で働く方のために国が作った退職金制度です。この制度は、事業主の方々が、従事者の働いた日数に応じて掛け金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その従事者が林業界をやめたときに林退共から退職金を支払うという、いわば林業界全体の退職金制度です。

◎掛け金は、税法上について、法人では損金、個人企業では必要経費となります。
◎掛け金の一部を国が免除します。
◎雇用事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

事業主の皆様へ
・共済証紙は労働日数に応じて適正に貼付してください。
・共済手帳を所持している従事者が林業界を引退するときは、忘れずに退職金を請求するよう指導してください。
詳細は、最寄りの支部または本部へお問い合わせください。

問　独立行政法人勤労者退職金共済機構
林業退職金共済事業本部
〒　170-8055
東京都豊島区東池袋1-24-1　ニッセイ池袋ビル
☎　03-6731-2889　FAX　03-6731-2890

ホームページでもご案内しております。
下記URLからご確認ください。
URL：http://www.rintaikyo.taisyokukin.go.jp/

運転免許更新時講習会

富良野地域人材開発センター
〒076-0055 富良野市西麻町1番1号
☎　22-2619

■優良講習（30分）
◎12月４ 日（金）　13時～
◎12月15日（火）　13時～

■一般講習（１時間）
◎12月４ 日（金）　14時～
◎12月15日（火）　14時～

■違反講習（２時間）
◎12月10日（木）　13時～
◎12月18日（金）　13時～
※講習日は変更する場合があります

占冠村の放射線量の状況（11月分）

測定日　令和２年11月５日
【単位：マイクロシーベルト毎時】

測定場所	測定時間	天候	測定値
中央小学校グランド	10時35分	曇	0.038
双民館グランド	10時10分	曇	0.055
占冠地域交流館グランド	9時55分	曇	0.048
占冠保育所グランド	10時25分	曇	0.038
トマム学校グランド	9時15分	晴	0.030
トマム保育所グランド	9時21分	晴	0.044

※北海道の空間放射線率モニタリング結果（上川総合振興局 0.021～0.098）と比較して平常レベルと判断されます。
「北海道の空間放射線率モニタリング結果」は、下記のホームページで公開されています。
『環境放射線測定結果【北海道立衛生研究所】』
http://www.iph.pref.hokkaido.jp/
問　総務課総務担当　☎　56-2121

「暴風雪に備える」

上川・留萌地方では、いよいよ本格的な冬の季節を迎えました。今回は、「暴風雪」についてのお話しをします。

暴風雪に伴う災害には、猛ふぶきによる視界不良、吹きだまりによる交通障害や歩行困難、暴風による飛散物での家屋等損壊、停電などがあり、北海道では毎年のように発生しています。特に平成25年3月には、道東地方を中心として発生した暴風雪により９名の方が亡くなり、500台以上の車が立ち往生するなど大きな災害となりました。

気象台では、暴風雪が予想されるときに暴風雪警報を発表します。また、広範囲に災害が予想されるときには「数年に一度の猛ふぶき、外出を控えて下さい。」のキーワードを用いた気象情報を発表して、暴風雪に対する厳重な警戒を呼びかけます。このキーワードを用いる場合は、２～３日前から段階的な防災気象情報の発表や北海道運輸局・北海道開発建設部との共同発表など、暴風雪に対してより一層の注意・警戒への喚起を行います。

暴風雪災害は、晴天から荒れた天気へ急変したときに特に多く発生しています。暴風雪警報が発表されたときには、今の天気が良くても油断することなく、最新の気象情報や道路情報などを事前に十分確認してから行動するようにしましょう。

問　旭川地方気象台　☎　0166-32-7102

旭川地方気象台ホームページアドレス
https://www.jma-net.go.jp/asahikawa/

降雪期の雪崩に注意しましょう

これから降雪期に入り、寒さが厳しくなりますが、この時期は表層雪崩が多くなります。雪崩災害を未然に防ぐためには日頃からの注意が大切です。急な天候・気温の変化や、斜面の状況に注意し、早めの避難を心がけましょう。

雪崩が自分の近くで起きた場合

流されている人を見続け、仲間が雪崩に巻き込まれた地点（遭難点）と、見えなくなった地点（消失点）を覚えておきましょう。見つかれば、直ちに掘り起こして救急処置を行いましょう。

自分自身が雪崩に流されてしまった場合

雪崩の流れの端へ逃げましょう。身体から荷物をはずし、雪の中で泳いで浮上するようにしましょう。雪が止まりそうになったとき、雪の中での空間を確保できるよう、手で口の前に空間を作りましょう。雪の中から、上を歩いている人の声が聞こえる場合があるため、大きな声を出して助けを求めましょう。

確定申告のお知らせ

令和２年分の還付申告の提出は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、自宅のパソコンやスマートフォンなどからの電子申告（e-Tax）を推奨しております。

電子申告を行うには、e-Taxを利用するための利用者識別番号の取得、マイナンバーカードの取得、または、国税庁ホームページの作成コーナーから確定申告書を電子送信するためのID・パスワードの事前準備をお願いします。

ご不明な点等ございましたら、国税庁ホームページ【http:/www.nta.go.jp】または、富良野税務署【☎22-2144】へご確認ください。

村営住宅等入居者募集のご案内

募集団地	受付期限12月15日(火)

●中央地区　６戸
○中央団地　１ＬＤＫ　**1戸**　２ＬＤＫ　**2戸**
　　３ＬＤＫ　**1戸**
○第２千歳団地※　４ＬＤＫ　**2戸**
※第２千歳団地は所得基準が異なります。
詳しくは建設課建築担当へお問い合わせください。

●トマム地区　４戸
○トマム団地　３ＬＤＫ　**1戸**
○第２トマム団地　３ＬＤＫ　**2戸**
○第３トマム団地　３ＬＤＫ　**1戸**

●トマム地区の夫婦世帯向け村有住宅
３ＬＤＫ　**1戸**
※こちらの住宅は入居基準、入居可能日が異なります。
詳しくは建設課建築担当へお問い合わせください。

■入居資格
次の条件を満たす方が申し込むことができます。
●占冠村にお住まいの方、村外から移住される方。
●月収が15万8000円以下の方。
（例えば、給与収入者で扶養家族がある場合、源泉徴収票の給与所得控除後の金額から同居扶養控除等の金額を引き、残りの額を12ヶ月で割った金額が15万8000円以下の方）
※敷金の納入が必要です。
※連帯保証人が２人必要です。
★入居者と同等以上の収入のある方。

■家　　賃　入居される世帯の収入等に応じて決定されます。
■入居可能日　概ね１月12日（火）
■入居決定　入居者選考委員会の審査によります。
■申込受付場所　建設課建築担当
トマム支所
■お問い合わせ　建設課建築担当　☎ 56-2172

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、家賃の支払いが困難な場合は担当までご相談ください。

こんにちは
保健師です

問　住民課保健予防担当
☎　56-2122

尽きない悩み、お気持ちをお聞かせください

長らく減少を続けていた自殺者数は、令和2年度に入ったあたりから上昇に転じています。特に7月以降は、女性の自殺者数の増加が目立っています。

女性の自殺の背景には、経済生活問題や勤務問題、DV（ドメスティックバイオレンス）被害や育児の悩み、介護疲れや精神疾患など、様々な問題が潜んでいます。コロナ禍において、そうした自殺の要因になりかねない問題が深刻化し、これらが女性の自殺者数の増加に影響を与えている可能性があります。

全国のDV相談件数は、前年同月比で1.6倍に増加しています。経済的にも不安定な生活を強いられる女性が増えている中で、今後の自殺リスクがさらに高まることが懸念されます。

女性の自殺者数の増加率が高いことから女性の自殺の動向に注目が集まりがちですが、依然として、男性の自殺者数は全体の68％を占め、男性自殺者数の3割が40～60歳代の中高年男性となっています。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今後の生活について不安を感じる方も多いと思います。

おひとりで悩みを抱え込まずに、まずは家族や友人など身近な人や左記の相談窓口までご相談ください。

主な相談窓口一覧

厚生労働省では、様々な相談窓口を紹介しています。電話相談の他、富良野保健所や役場等に相談してください。

こころの健康相談統一ダイヤル
☎　0570-064-556

「こころの健康電話相談」等の公的な相談機関に接続します。

よりそいホットライン
☎　0120-279-338（24時間）

暮らしの悩み事、悩みを聞いてほしい方、DV、性暴力などの相談をしたい方、外国語による相談をしたい方など

いのちの電話
☎　0570-783-556

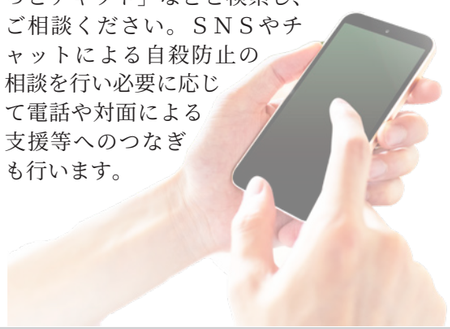
コロナ禍の中で様々な困難や苦悩にあって、おひとりで苦しんでおられる方のための電話です。そのお気持ちをお聴きかせください。

チャイルドライン
☎　0120-99-7777

18歳までの子どもがかける電話です。チャットでの相談も受け付けています。

ＳＮＳ相談

お使いのスマートフォンアプリで、「生きづらびっと」「よりそいチャット」「こころのほっとチャット」などと検索し、ご相談ください。ＳＮＳやチャットによる自殺防止の相談を行い必要に応じて電話や対面による支援等へのつなぎも行います。



火災・救急・救助　119

消防瓦版 纏（まとい） No.386

問　富良野広域連合富良野消防署占冠支署
☎　56-2119

冬の入浴にはご注意を。

冬期間は、暖房をつけている暖かい部屋と、暖房をつけていない浴室・トイレなどの寒い部屋では温度差が生じます。この温度差は、血圧を大きく変動させる原因となります。血圧の急激な変動によって引き起こされる、失神、脳梗塞、心筋梗塞や不整脈などの健康被害のことをヒートショックといいます。浴室でヒートショックの症状が現れた場合、転倒や溺水の危険性があり、条件によっては命に関わることもあります。

冬期間は、ヒートショック発症の可能性を念頭に置き、可能な限り家の中で温度差を生じさせないようにする工夫が必要です。ヒートショックがおきやすい人の特徴として、高齢者や脳血管疾患の持病がある人があげられます。以下のポイントに注意してヒートショックを予防しましょう。

- **脱衣所や浴室が冷え込まない夕方に入浴する**
- **食事直後や飲酒時は入浴しない**
- **お風呂のお湯は４１℃以下に設定する**
- **脱衣所やトイレに暖房機を設置する**

救急出場状況（10月分）

交　　通	３件	（７人）
一般負傷	２件	（２人）
急　　病	12件	（10人）
転院搬送	１件	（３人）
１０月計	18件	（22人）
累　　計	116件	（107人）

※（　）内は搬送人員

地域とともに　コミュニティ・スクール情報 ～占冠中学校～

休校措置解除後から６ヶ月が過ぎ、中学校では新型コロナウイルス感染リスクを抑えながら、年間計画の変更や教育活動の一部見直し、家庭学習状況のフォロー、健康状態の確認などを行い、生徒達の「学びの保障」を踏まえた持続的な学校運営を推進してきました。また、コロナ禍を乗り越え、生徒達のさらなる資質・能力を身につけさせるために、ICT活用法や機器環境の整備等も占冠村の協力を得ながら着々と進めており、電子黒板や実物投影機の充実はもとより、デジタル教科書の導入やタブレットPC等による遠隔操作の活用法も研究、検討しています。

１学期に行うことができなかった学校行事については、保護者や地域の方々からもご理解・ご協力を頂きながら、２学期から無事に開催することができました。１年生の炊事遠足、２年生の宿泊研修、３年生の修学旅行、第７４回体育祭等、開催する上で様々な制限や感染症防止対策が求められる中でも、生徒達は創意工夫を凝らし、前向きに精一杯取り組んできました。特に、体育祭から学校祭にかけては、全校生徒が一丸となってまとまる姿が見られ、改めて占中生の団結力や成長を感じ取ることができました。

コロナ禍においても、今年度の中学校の重点目標である「意欲的・主体的に行動する心豊かでたくましい生徒の育成」をめざし、「子どもの学びを止めない」を合い言葉に、学校と地域が一体となって、魅力あふれる教育活動を推進していきたいと思います。

問　占冠村教育委員会　☎　56-2182

北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター

道民等を対象とした新型コロナウイルス感染症に関する一般健康相談はこちらから

☎ 0800－222－0018

（フリーコール，24時間相談窓口）

少なくとも、以下のいずれかに該当する場合はすぐにご相談ください

・息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
・重症化しやすい方※で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
※高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
・上記以外の方で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合（症状が４日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合はすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です）

一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の３つの基本は、①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いです。

□人との間隔は、できるだけ２m（最低１m）空ける。
□会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
□外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。
□家に帰ったらまず手や顔を洗う。人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
□手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。
※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

□感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
□発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
□地域の感染状況に注意する。

日常生活を営む上での基本的生活様式

□まめに手洗い・手指消毒
□咳エチケットの徹底
□こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に）
□身体的距離の確保
□「３密」の回避（密集、密接、密閉）
□毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

編集後記

11月に入り、新型コロナウイルス感染症の感染者が急増しています。可能な限り、感染が拡大している地域への往来を避け、手洗い・うがい・マスクの着用を徹底し感染予防に努めましょう。（小林）

広報からのお知らせ

各行事等では広報の取材・写真撮影をさせていただいています。
広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか担当までご連絡ください。広報紙に関する情報・意見・要望もお待ちしております。

ご誕生おめでとうございます

グルング　サキ ちゃん
令和２年10月２日生

自然体感占冠 Shimukappu/Hokkaido

■人口・世帯数（10月末住民基本台帳登録数）

人口	男	女	世帯数
1,230人（-7）	606人（-9）	624人（+2）	764（-5）

《うち外国人の人数　165人》

中央	占冠	双珠別	トマム	出生	死亡	転入	転出
655人	82人	47人	446人	1人	3人	15人	20人

広報しむかっぷは、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用し、CO_2削減事業ならびに東北経済復興を応援しています。

発行／占冠村　編集／企画商工課　印刷／㈱総北海
〒079-2201　北海道勇払郡占冠村字中央　☎0167-56-2124　FAX 0167-56-2184
占冠村ではホームページを開設しています。アドレスhttp://www.vill.shimukappu.lg.jp